

## 「福生市英語教育推進計画」 プロGRESS 5 (3) 日本英語検定協会との連携

### 国の動向

- 学校の授業における英語力評価及び入学者選抜における**英語の資格・検定試験の活用を促進**  
（「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進に関する行動指針」 平成27年3月17日）
- 生徒の着実な英語力向上を目指し、国及び県で明確な達成目標を設定：  
「中学校卒業段階で**英検3級程度以上50%**を達成（第2期教育振興基本計画）」  
（「生徒の英語力向上プラン」 平成27年6月5日）

### 英検の概要

- 実用英語技能検定（英検）  
コミュニケーションに欠かすことのできない「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を的確にバランスよく測定することを目的とした検定試験
- 初歩段階の5級から、幅広い分野で通用する1級までの**7つの級**を設定
- 高等学校入試優遇校  
**全国1,300校**  
（国立1、公立879、私立420）  
**東京都（公表校のみ）133校**  
（公立17、私立116）

### 「英検福生モデル」

- 導入の意義  
国際色の豊かな本市においては、子どもたちにコミュニケーション能力を育成することは重要な教育課題である。英検は子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の見える指標となり、英語を学ぶ動機付けにつながる。これらのことから本市において「英検福生モデル」を導入するものである。
- 英検の公費による受験

対象	受験級
中学校第3学年全生徒	<b>3級</b>
小学校第6学年全児童	<b>5級</b>

- 中学生：平成28年度より完全実施
- 小学生：平成28・29年度は移行期間。希望者のみ受験。  
平成30年度より完全実施
- 3級：身近な英語を理解し、また使用することができる。
- 5級：初歩的な英語を理解することができ、またそれを使って表現することができる。

受験時期		
第2回	一次試験：10月	二次試験：11月

※中3は結果を入試相談に活用可能な最後の試験回

- 協会提供の教材の活用（無償）
  - (1) **スタディギア**  
英検2級～5級の一次試験、二次試験対策  
**Web学習プログラム**  
受験対象以外の学年においても英語授業及び自宅学習で活用
  - (2) **英検 IBA (Institution Based Assessment)**  
英検を受験する前に取り組むことで、英検のどの級を受験したらよいか、**自分の実力が事前にわかるテスト** 試験時間45分：授業で実施可能

### 導入までのプロセス

- <平成27年>
  - 4月 日本英語検定協会と基本構想に関する打ち合せ
  - 5月 小・中学校英検取得状況調査  
（中学生3級以上取得者：63名  
小学生5級以上取得者：16名）
  - 7月 各学校にデジタル教材等試用説明
  - 9月 **スタディギア試用開始**  
（小6～中3、年度末まで）
  - 11月 予算要求  
**英検 IBA 試用**（中2、中3）
- <平成28年>
  - 10月 **英検受験実施予定（26市初）**

- 【予算について】  
「英検福生モデル」完全実施の場合  
（平成30年度以降）  
受験料 3級：2,800円、5級：1,500円  
必要な受験料 **▲1,720,000円**  
協会からの運営費補助 **△263,750円**  
**実質負担 1,456,250円**

<参考>今後5年間の見込児童・生徒数

	H28	H29	H30	H31	H32
中3	399	389	388	354	332
小6	403	378	376	383	417
合計	802	767	764	737	749

- <検討課題>
  - 当該級受験の学力が明らかに不足している場合、どのように対応するか。
  - すでに受験級を取得していて、上級級を受験する場合、費用が加算されること。